

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	あさひグリーンウッドワーキングプロジェクト		
事業主体 (連絡先)	朝日村家具連絡協議会 (朝日村商工会議所)		
事業区分	(6) ウ 森林づくりと林業の振興		
事業タイプ	ソフト		
総事業費	1,330,250	円 (うち支援金: 1,064,000	円)

事業内容

山や森林に対する関心を引き起こす。

1. グリーンウッドワーキングプロジェクトチーム立ち上げ。(朝日村家具連絡協議会員8名)
2. グリーンウッドワーク講師養成研修会開催
2020年8月29日及び9月20日、21日、22日
参加者10名
3. グリーンウッドワーク体験イベント開催
2020年9月26日 緑のコロシアム 10名
2020年10月25日 緑のコロシアム 10名
4. 宣伝 周知 啓発
11月17日～12月28日 役場ロビーに作品展示



講師養成研修風景

【目標・ねらい】

- ① 山や森林に関心を持ってもらう

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

1. プロジェクトチームを立ち上げた。
2. 講師養成を通じグリーンウッドワークの基礎を習得できた。
3. 体験イベントは10名定員で一回限りの予定だったが30名以上の応募があり2回開催した。今何か物を作りたい人がたくさんいるのではないかと感じた。
4. 作品展示では実際に作ってみたいという声を多く聞いた。

※自己評価 【 B 】

【理由】

8名の木工作家も新しい作品づくりのヒントになり、体験に参加した人もストーブの薪がもったいなく思えるようになった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

グリーンウッドワークの新しい作品作り。

村内で公民館活動と小学生の体験を盛り込んでいく。

製品の販路開拓。

グリーンウッドワークを宿泊とからめた観光を村内団体と連携して進める。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある